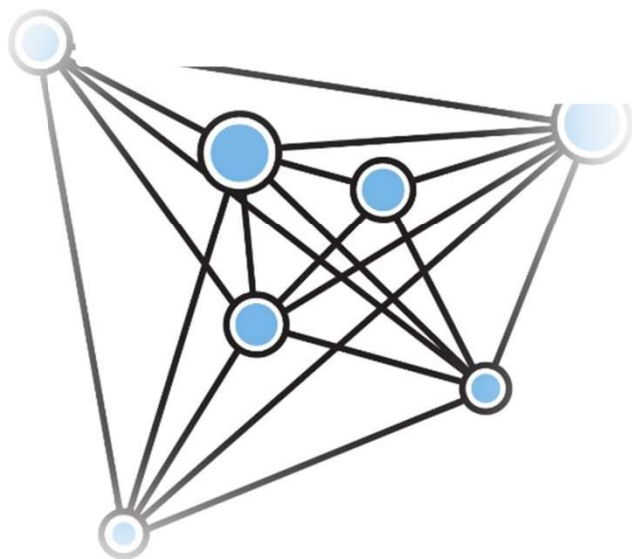




DX戦略



このまちの未来をともにつくる

横浜信用金庫

令和6年8月1日





「このまちの未来をともにつくる」
(経営理念)

「選ばれ続けるベストパートナーバンク」
(長期ビジョン：Vision110)

横浜信用金庫では、2033年7月の創立110周年に向けて【Vision110】「選ばれ続けるベストパートナーバンク」と地域金融機関としての普遍的な「ありたい姿」を確固たる長期ビジョンとして定めております。また新たに2024年4月より「中期経営計画～Shinkaへの挑戦～」をスタート致しました。目下3年間の中期経営計画期間内において当金庫は様々なShinkaへ挑戦し、長期ビジョンの実現へ向けた着実な歩みを進めてまいります。

この度公表する「DX戦略」は、Shinkaへの挑戦の1つとなります。近年、地域・お客さまを取り巻く環境の変化は著しく、デジタル技術の進展はお客さまの生活や事業に大きな変革をもたらしつつあります。こうした中、当金庫は地域に根差すインフラ機能の一つとして従来型の金融サービスの提供に固執することなく、デジタルを通じて新たな価値を創造し、お客さまが直面する課題に対してより多面的なアプローチを試み、スムーズかつ安全な先鋭型の金融サービスの提供を目指してまいります。

2024年4月にDXへの取り組みの専門部署として「DXオフィス」を新設し、体制面の整備を実施すると共に一般社団法人金融データ活用推進協会（FDUA）へ加盟し、データ利活用、生成AI等の業務利活用に向けた具体的な調査研究に着手致しました。また、当金庫は法人向け非対面サービスとして2018年4月から「Yokohama Big Advance」、2022年9月から「Mikatanoシリーズ」の取り扱いを開始しておりますが、2024年5月には個人向けバンキングアプリの取り扱いを開始し、さらなる非対面チャネルの拡充を図っております。

「DX戦略」の遂行に金庫一丸となって取り組み、地域・お客さまの期待と信頼にお応えすべくShinkaへと挑戦し続けてまいります。

理事長 春日 隆

■ 経営理念と職員に求めるマインドセット

- 横浜信用金庫では経営理念を実践するべく、職員に5つのキーワード（大切にしたい思い・行動）をマインドセットするように求めています。

経営理念

このまちの未来をともにつくる

信用金庫の原点を忘れず
金融を超えた価値を提供し
笑顔あふれる地域づくりに貢献する

チャレンジ

広い視野を持ち、変化を恐れず
積極的にチャレンジする

信頼

自分たちの仕事に誇りと自信を
持ち、信頼される行動をとる

学習

成長に向けて常に学習し、未来
への責任を果たす

感謝

感謝を忘れず、相手の想いに真
摯に向き合う

尊重

多様な価値観や新しい考えを尊
重し、共に考動する

- 横浜信用金庫は地域金融機関として普遍的な「ありたい姿」を2033年7月の創立110周年に向けた確固たる長期ビジョンとして定めています。

Vision 110

“選ばれ続ける”ベストパートナーバンク

◆ これからも地域において選ばれ続ける存在であるために、「これまで」培ってきた「事業者支援にプライオリティを置いたビジネスモデル」を盤石なものとし、地域におけるプレゼンスをこれまで以上に発揮していく。そして役職員は、大切にしたい思い・行動に込められた想いを体現し、笑顔あふれる地域づくりに貢献する。

- ◆ 一方で、新たなデジタル技術が活用され「これから」の競争環境はめまぐるしく変化していくことが想定される。

✓ 分散型金融（DeFi）の普及

➢ Web3世界の急速な拡がり

✓ オンライン金融主流からオフライン・ハイブリッドへの揺り戻し

➢ 対面ニーズの再燃

想定される変化

✓ 金融機能のアンバンドリングによる一部金融機関のプラットフォーム化と顧客接点の囲い込み

➢ 非金融プレイヤーとの連携

✓ 選ばれる金融機関としての前提条件（データを持っている/扱える金融機関であること）

➢ 顧客動向データの集積・分析

● 長期ビジョン実現に向けて現中期経営計画期間内で取り組む経営戦略を定めています。

◆ DX戦略は経営計画（＝経営戦略）を遂行する上で、下支えの役割を担います。

戦略を支える戦略
Strategy that supports strategy
DX戦略

経営戦略



事業者支援の深化（進化）と収益構造強化

基本戦略 1

営業戦略

- 事業者支援の深化（進化）
- 顧客管理体制の見直し
- サステナビリティ・GX推進
- 預金の係留
- 資産形成サポート
- 市場運用の高度化

経営インフラ整備とリスク管理態勢の高度化

基本戦略 2

経営インフラ

戦略

- 店舗戦略の再構築
- 店頭体制の再構築
- 営業活動を支える環境の整備
- チャンネルの整備
- リスク管理態勢の強化

柔軟かつリニアな組織の構築と人的資本経営に向けた取り組み

基本戦略 3

組織・人財

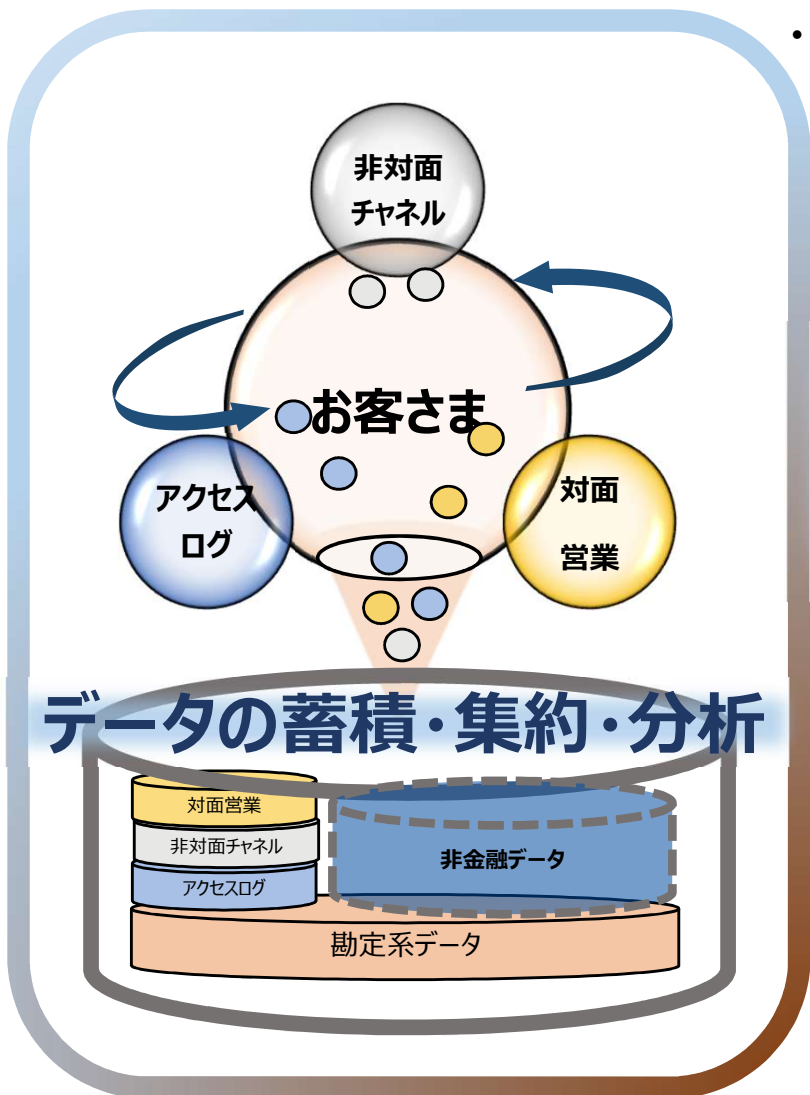
戦略

- 新たな組織文化・風土の醸成
- 人材育成
- キャリア支援態勢の整備
- 人材採用
- 柔軟かつリニアな組織再構築
- ダイバーシティ

●DX戦略は「これから」の競争環境を見据えた「先鋭型金融」の実現を目指すものです。



●積極的にデータを活用し、地域連携エコシステムの一翼を担う金融機関を目指します。



－行政・地域社会－

- ・ ヒトにやさしい地域社会の実現
- ・ お客さまと行政・地域社会を繋ぐ金融インフラとして不可欠な存在へ

－個人－

- ・ 行政や商流サービスと連携した非対面完結型サービスの提供

横浜信用金庫
地域における
圧倒的な存在感の発揮

クリティカル
アプローチ
の実現

－法人－

- ・ 商流サービス等への金融機能（組込型金融等）の提供

今まで持ちえなかったデータ（非金融）も積極的に活用し
よりお客さまのニーズへクリティカルアプローチを実現する。

お客さまへ適切なバリューが提供できる金融機関として信任を得て
地域連携エコシステムに欠かせないワンピースを目指す。

- 令和6年4月より担当常務理事直轄組織として「DXオフィス」を新設しました。



※令和6年7月現在